

どこがおかしい と思いませんか？  
7割近くの人が「将来に不安を感じて」くらしている、なんて！  
はたしていると思いませんか？  
議員の役割 議会の役割 政治の役割



日本共産党 船橋市議会議員

さとう

しげお

佐藤 重雄 です

新しい船橋

発行

日本共産党船橋市委員会

船橋市二和東6-41-20

2011/2

Tel. 047-440-5240 Fax. 047-449-7004

日本共産党船橋市委員会の見解をご紹介します。  
みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

## お力を かけてください

船橋市内の団地に住むことになって、40年を超えました。私が政治に関わった最初は「自治会活動」からでした。

通勤の足の確保、子どもたちの育つ環境づくり、団地を中心にした「まちづくり」、そして公害に反対する運動……。

「家賃の値上げ」問題では、「団地のくらしは、政治と直結」を実感しました。そして気が付いたら「高齢者のくらしのこと」が待っていたのです。

今も、「保育所が足りない」「高齢者の施設が足りない」「旭ガラス跡地や南船橋駅前の再開発」「船橋小学校の建替えと周辺のまちづくり」など、大きな課題が目前に迫っています。

福祉施設の確保には、知恵もお金も必要ですし、再開発などの「まちづくり」は、不動産業界などの「儲けてしまえば、あとは野となれ……」にまかせてしまうわけにはいきません。

これまで培ってきた知恵と「工夫」で、後々にも評価される船橋市を目指して力を尽くしたいと思います。

## <すいせんします> 南浜診療所所長 医師 松岡 角英

高齢者や社会的弱者を狙い撃ちするような医療・保健制度の改悪が続いています。

国民の「命をまもるために生まれ、活動してきた」医療機関である南浜診療所の医師として、こんな「弱いものいじめ」は許せません。

「命を大切に作る船橋市」になってもらいたいと思い、その実現を目指す佐藤さんに期待しています。



## <私も、すいせんします>

志位 和夫 (日本共産党委員長 衆議院議員)

丸山 慎一 (日本共産党千葉県議会議員)

矢野 光雄 (医師)

津賀ゆき子 (南浜診療所友の会 会長)

松川 正則 (宮本、千葉県視覚障害者の  
生活と権利を守る会)

齋藤江美子 (社会福祉士 ケアマネジャー)

伊藤ミチ子 (北本町 保育士)

鈴木 輝夫 (若松二丁目分譲自治会 会長)

植草 茂夫 (日の出)

植草 邦夫 (南本町県住 3.4 棟自治会 会長)

田久保公規 (弁護士)

石川 稲子 (船橋民主商工会 会長)

並木 寛治 (千葉土建一般労働組合  
船橋支部 執行委員長)

津賀 俊六 (船橋市保険鍼灸師会・相談役  
NPO法人「100歳まで安心して買い  
物できるまちづくりの会」会長)

村上 剛 (千葉土建船橋支部 南分会長)

保土田勇二 (南本町)

鈴木まゆみ (若松2丁目自治会 役員)

藤田 直罔 (西船グリーンハイツ)

よく「実績」と言いますが、「他には見られない」実績を見てください  
市民の負担を軽くさせた、佐藤重雄と日本共産党議員団

- ◎バブル崩壊で、巨額の借金を船橋市だけが負担することになりそうだった船橋駅南口の再開発。「権利変換が終っていても、大口の権利者間の『任意の協議はできる』という見直し案」を提案。結果として21億6,000万円の協力が得られ、それだけ市民負担が少なくなりました。
- ◎市庁舎が建設されている土地の一部は借地。その「借地料」が異常に高くなっていることを指摘して引下げました。(10年間で3億6千万円)
- ◎ケア・リハビリセンターの建設と運営にかかわる「癒着」を解明し、1億2,000万円の事業者負担で和解に。
- ◎船橋駅北口駐車場「貸付料」があまりにも低額であることや管理のあり方を追求。見直しが始まりました。
- ◎若松団地地先の「埋め立て」やその後の再開発に積極的に発言。今回その土地の一部に「保育園の新設」の計画が進んでいます。
- ◎地域のことでも……南船橋駅のエレベーター設置、西船橋駅南口のエレベーター設置に「目途をつけた」など、いろいろありますが……。

登壇回数断然トップ、「追求もする」が「提案も大切に」してきた、28年間  
**佐藤重雄の公約 = 次の「4年間で、実現させたい」こと**

- ◎総武線以南に、特別養護老人ホームを建設させること。
- ◎併せて、「在宅でのくらしが困難」になった方が入居できる「ケア付き」の「高齢者向け優良賃貸住宅」「高齢者専用賃貸住宅」を整備し、高齢者と家族の不安をなくすこと。
- ◎国民健康保険料を引き下げ、低所得者が「医療からはじき出される」ような事態をつくらないこと。
- ◎子育て環境整備として、「家賃補助制度の創設」「保育園の充実と保育料の引き下げ」「奨学金制度の充実」をすすめること。
- ◎ハンディキャップを負う方たちや、介護をしている方たちの将来不安を無くすための制度をつくること。
- ◎市営住宅の建設で、「住宅に困る市民」をつくらない体制をつくること。
- ◎船橋の「農業」「漁業」を「地域産業の柱」として育成し、漁業を支えている三番瀬は「ラムサール条約の登録湿地」とすることを進めます。
- ◎年間9億円もの「東葉高速鉄道への支援」をやめる方策を提案します。

## 福祉は「経済を活性化させ」ます

「福祉や社会保障は財政をダメにする」と宣伝され続けました。

国民が「そうかも知れない」と思わされても不思議ではありません。

ところが、それは「まったくの逆さま」だと言うことがわかってきました。

平成20年版の「厚生労働白書」にも、福祉や社会保障の経済効果を認める記述が現れました。

日本の経済が立ち直れないのは、輸出依存の「外需だのみ」だからで、「内需つまり国民の消費」が伸びていないからというのは誰でもが認めていることです。

国民の消費を拡大するには、①国民の所得を増やすこと、②将来不安が無く「消費できるという環境」が備わっていなければなりません。

この仕組、「社会保障や福祉に使うお金は、公共事業（土木）より経済効果が大きい」ことを、13年も前に解明したのは、日本共産党でした。

しかし、当時の政府は、聞かれれば「そうです」と答えましたが、積極的には明らかにしませんでした。

それが、政府の「白書」に記述されたことは画期的なことです。

# 日本国憲法を「道しるべ」に、「新しい社会」を！

憲法に掲げられた内容は「現実のもの」になっているのでしょうか？

例えば、第25条第1項「すべて国民は、健康で文化的は最低限度の生活を営む権利を有する。」

第26条第1項「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、等しく教育を受ける権利を有する。」

第27条第1項「すべて国民は、勤労の権利を有し義務を負う」

これら「国民の権利」は護られているのでしょうか？

憲法は、第9条の（戦争の放棄・戦力の不保持・交戦権の否認）も含めて、私たちに「希望の持てる国の形」を示しています。

ところが、実際には「現実のもの」とはなっていません。

戦後歴代の政府が、誠実に履行しようとしなかったからです。

それならば、国民が政治に参加して、「履行させる」以外にありません。

みなさん、政治に参加を！

子どもの医療費無料化を  
「中学3年生まで」拡大させます  
三番瀬をラムサール条約の  
「登録湿地」に

日本共産党千葉県議会議員 丸山慎一

環境省に三番瀬の登録について聞き取りをする  
丸山県議（左端）と佐藤市議



見極めてください！

いろいろな政党が生まれています。

でも、どの政党も「自民党から分かれた人たち」で作られているのが特徴です。

とくに「みんなの党」という政党は、小泉構造改革の旗振り役だった人が党首で、「貧困と格差をつくった構造改革」をもう一度やろうとしているのです。

「新しい装いの裏」に何が隠されているか？

見極めて必要のようです。